



联合国  
粮食及  
农业组织

FOOD AND  
AGRICULTURE  
ORGANIZATION  
OF THE  
UNITED NATIONS

ORGANISATION  
DES NATIONS  
UNIES POUR  
L'ALIMENTATION  
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION  
DE LAS NACIONES  
UNIDAS PARA  
LA AGRICULTURA  
Y LA ALIMENTACION

منظمة  
الغذية  
والزراعة  
للأمم  
المتحدة

### Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,  
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101  
Facsimile: (045) 222-1103  
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO（国際連合食糧農業機関）日本事務所  
2010年8月20日

LOJAPR10/21-No. 170

## プレスリリース

パキスタンで何百万もの家畜が死亡・損失の危機に瀕している  
－更なる経済破壊を防ぐため、緊急に家畜飼料が必要－

2010年8月20日、ローマ－パキスタンの洪水は、何百万もの家畜にも被害を及ぼし、大量の餌や薬が必要であると本日FAOは述べた。

約20万頭の牛・羊・水牛・山羊・驢馬の死亡若しくは損失が確認されているが、最終的な数はかなり高くなり、恐らく何百万頭に達するものと予想される。家禽類の損失も含めると、既に何百万の家畜が失われており、幾つかの地域ではすべての家禽類が死滅している。FAOでは何百万の生き残った家畜が厳しい飼料不足に直面しており、パキスタンの畜産を何世代にも亘って脅かす恐れがあると予測している。

人々がパキスタン軍やその他の救助によって助けられた時に、家畜を後に残さざるをえず、多くの家畜が死亡した。「ボートには鶏・山羊・羊は一緒に乗せられるが、水牛・牛は一緒に乗せられない。」とサイモン・マックFAO家畜生産システム部チーフは述べる。

「救助された洪水被災者の殆ど全ての写真で、誰かしらが山羊か鶏を手に見ているのが見れる。」FAO現地スタッフによると、シンディ州では避難場所に多くの家畜を持って洪水被災者が現れているという。

洪水は、パキスタンでも家畜数の最も多い地域に被害を及ぼしている。畜産は農業GDPの約半分を占める。

「この国の家畜は、貧しい人々にとって動くATMである。」とFAOのパキスタンでのプログラムを担当しているデービッド・ドーランシニアチーフは述べる。「良い時には人々は家畜を増やし、悪い時には家畜を売って現金収入を得る。1頭1頭の家畜が、洪水が過ぎた時に貧しい人々の生活を再建させる為に利用できる生産的資産である。」

最優先事項であり且つ難題なのは、生き残った家畜を、パキスタンの従来の家畜飼料である藁・飼料の大部分が洪水で失われた中で、どのように養うかである。水牛や牛には、次の繁殖期に向け早急に再形成出来るようにする必要がある。

この度の災害で弱ったり病気になったりした家畜への薬確保も急務である。

国連は緊急家畜支援としてへ5.7百万USドルを要請し、FAOは1.4百万USドルの資金を家畜飼料及びワクチン調達の為に動員している。FAOは、セクター全体のニーズが把握出来た時点で、一層の資金協力を要請することになる。

「飼料の多くが失われており、我々は、まだ、どのくらい飼料が国内に残っているかの感触を掴もうと努めてる。その後、我々はそれら飼料をインフラストラクチャーがかなり破壊されてる中で輸送するという難問にも立ち向かわなければならない。」とマックは述べる。

藁や粗飼料がある場所では、これにパキスタンで生産される飼料用栄養補助剤を補うことが出来る。家畜に穀物、豆、副産物－ふすま等－を与えることも可能であるが、これらは洪水による被災者を養う為の需要が大きい。

英文 URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/44803/icode/>